第二百三十六號

NAMBEI SHIMPO

25 de MAIO de 1939

週刊南米

サンパウロ市ピレーレ地
モッタ三八一番
發行所 南米新報社
購讀料 一年 二三〇
廣告料 一段 七〇〇

言論

非國民とスパイの警戒

在伯同胞官民協力して當れ

△

日支事變の進展と共に我國の對外國際情勢は日に日に複雑困難の度を加へつゝあるが、特に日露關係は宿命的で――一觸即發の危機にさらされ、更に支那に於ける英米佛の權益乃至租界問題をめぐつて極東の空には益々暗雲が低迷して居る。

△

此秋に際し最も暗中飛躍する者は各國のスパイであらう、過ぐる歐洲大戰に幾萬のスパイが如何に『眼に見えぬ戰線』を往來したか今更説明するまでも無い事である、最近我國の内務省は新にスパイ取締令を公布して國民の注意を喚起したと云ふのも是れが爲めであらう。

△

日本國内のスパイ取締に就ては緊張せる官民の神經を以て萬全を期することは左程困難ではあるまいが、海外に於ける間接的スパイに對しては如何に神經鋭敏なりと雖もチヨツと手の下しやうが無いであらう、即ち外國主權下の領土で行はるゝスパイ行動にまで容易に監視の眼は届かないのである、是處がスパイのツケ目なのだ。

△

今次事變勃發以來、我が在伯同胞は擧つて銃後の護りに赤心をさゝげ國防獻金或は出征將兵遺家族の慰問又は出征軍人への慰問品贈呈等、兎に角、遠く海外に在る日本國民としての誠を披瀝して居るのは甚だ結構なことではあるが、我等は最近切に『國民銃後の護りは單に國防獻金や慰問品の贈呈を以て足れりとしてはならぬ』事を痛感して居る者である。

△

日本では物質的総動員法のみならず精神的総動員まで叫ばれて居るのも、要するに廣義に解釋したる銃後の護りを一層強化せしめんが爲めに外ならぬ。

故に、若しも我在伯同胞社會に於て非國民的存在を發見したならば、一刻の猶豫無く官民協力斷乎として絶滅を期する事も銃後の護りの一つである、愛國運動の美名に隠れて私腹を肥す非國民を初め、青年の美しい愛國心と感激に水を注ぐやうな言論を弄する國賊的存在、又徒らに在留國に阿附迎合して親の國を忘れ日本人の子で有りながら日本や日本人間のアラをブラジル人社會に曝け出す不心得者、ブラジルで生れたから自分はブラジル人だ、日本がどうならうと知つた事でないと云ふ第二世等々算へ擧げれば幾らでも有るが、何れも卜逃『廣義に於ける銃後のまもり』強化の邪魔物であり日本國民の大敵である、此奴らは積極的には母國へ弓を引かぬが消極的に反逆の大罪を犯して居る獅子身中の虫即ち祖國のためには是れも一種のスパイ行爲と同視すべきである。

△

聞く處に依れば目下支那では國民政府に買收された日本人のスパイが、ラヂオ放送局で毎日、日本の惡口ばかりが世界に放送して居ると云ふ、そして其の賣國奴の素性も判明して居る、いふまでもある、苟も日本人の皮を被つて居る者が、よくもソンナ眞似が出來る、『本當かい?』と聞き直したい位の話であるが、日露戰爭の際にも在外日本人の間から同種の賣國奴が同胞の間から輩出した過去の記憶に照合して、今度も支那だけではない、此のブラジルでも決して油斷は出來ませんぞ!

△

今度の事變勃發以來、時々日本語の怪放送がラヂオの短波受信器に這入つて來る、ブラジルから東京を呼び出しては種々な話をして居る者がある、(日本では法律を以て個人の海外放送は禁じられて居る筈だが)勿論此のラヂオ放送者を以て直ちにスパイだとは言はぬが、彼等會話の内容が日本の外交國防に關する事情に及んで居る處から觀て我々日本人が『變だぞ!』と怪しむのは當然であらう、例へば本月廿一日の知きは『獨伊の軍事同盟に日本は參加しないと言つて居るが眞實の處はどうですか?』とか『日露の危機は迫つて居るが戰爭になるか?』とか『今日本では戰爭のため人手が足りないと思ふが如何?』とか話しかけ大使館の中西武官がどうだ斯うだとまで話つて居た。

△

夫れのみならず會話の合間〳〵に英語のうまい外國人と葡語で打合せては放送して居るところから我等の第六感では、一此の日本人は第三國人と共同又はその手先きをつとめて日本へ放送してゐること

二發信地はリオデジャネイロ市であること

三日本人は卅歳前後の男で渡伯八九年の新參者にて中國(恐らく廣島)邊の產なること

四此男は常に我大使館に出入して館内の事情(或は機密)を知り且つ中西武官をも知つて居るらしい

假りに之をラヂオのアマチユアだとしても談話の内容が余りに日本の國際事情の機微に觸れて、いつも積極的探索的である点が、特に我々の神經を過敏ならしめる、幸にして其れがスパイのものでないなら以後は斷じて日本の外交國防事情に觸れてはならぬ、否、何處で誰れが聞耳を居るか分らぬラヂオでベチヤクチヤ喋る可き性質のものでない、斯の如きは誤解を招き易いことでも有るから必ず恐れて慎しむがよろしい。

△

我々が聽く日本語の怪放送に就ては、まだ幾らでも書くべきことは有るが、公表すべき筋のものでないから、後は讀者の判斷に委せて置くが、玆に於て深く考へさせられた事は前述した在伯日本人の務め(銃後の護り)は、たゞ獻金すれば可いと云ふだけでは充分で無い、斯う云ふ方面に對して油斷をしてはならぬと云ふことである。

乃ち廣義に解釋したる銃後の護りを更に擴充強化して非國民やスパイを出さぬやう、各自互に警戒の眼を見張り、官民協力して母國の精神総動員に對應する事ほど現下在伯同胞社會の重大事は無いと信ずる。

週刊南米

虚實の境

○

『世の中は四尺四面になりにけり』といふ歌の句が日本にあります、大方御承知の如く『五尺のからだ置きどころ無し』と云はんが爲めの前置きであります。

○

之れを正面から常識的に考へれば一々もつともな話であります、一秒の間に赤道を何廻轉かするやうな凄じい電波が人間のものとなり、地球の裏表から自由に話が出來、數年前までは夢にも見られなかつたラジオで毎朝毎夜日本のなつかしい音樂が寢ころんで居て聞かれる、また日本にでも歸らうと思へば五十日六十日と辛い船の旅をしなくても、時速幾百哩の飛行機で僅か十數日の間に行かれる斯くて廣い世界は益々狹くなるばかりであります。

○

加之、一攫千金を夢見て日本を飛び出したる者でなくとも、兎も角、桃太郎の門出にあやかつて南米のはてまで勇躍して、さて、お前はモウ何年になる? 十年にも廿年にもなり乍ら、まだ元の木阿彌か? だから歸り度くても歸られんのだちやと云ふ、是れでは成る程五尺の體の置きどころは有りますまい。

○

世を呪へば蔗族を立て、一撥でも起すか、身を呪へば禪の紐に萬斛の恨みを懸けて首でも吊るか二つに一つとは、果てさて情ないかの依存性を震駭せしめるものである、リヤに於ける汎米會議に於て共同防衛案が米國に依つて提出されたのも、日、獨、伊が世界平和の脅威であるためではなく、米國自身の汎米政策の障害に對する防衛であつた。

△

東亞に於ける新事態は、日滿支アウタルキーの完成に依つて米國の東亞に對する進出は、現在よりも將來に期待されたる進出を根本から否定する、それは現在の對日貿易を失ひ、相對的には小額乍らも對支投資の全部的損失を意味する、之等の不利益と交換に東亞の新秩序建設の平和性を承認するべく米國は余りにも打算的であり、平和主義者ではない。

△

米國が英、佛と共同歩調をとり寄る對支借欵、對日禁輸等、その積極的態度を取るに至つたのも、米國の利害が命ずる所である、通商、文化、傳道等米國か海南島に關係を有するといふ理由こそ、米國の對支野望の將來性を窺はしめる。

△

米國の國内事情も亦、米國の民主制擁護、獨裁國家の攻擊へ向はしめる重大な動機である、重要產業の不振(重工業の七〇%操短)ユダヤ系財閥の政治的策動、一千萬を遙かに越える失業者群、階級的對立の激化、思想的動搖等々、之等の國内矛盾がナチズム・ファシズムを擡頭せしめることの恐怖と共にルーズベルト大統領の國内對策の破綻は全體主義國の侵略への憎惡と攻擊を煽動することに依つて輿論の轉換を余儀なくせしめたことも事實である、ルーズベルト大統領があらゆる機會をとらへて獨裁國家への攻擊を絶叫し、米國のかうむる脅威を强調して、ある事に依つて對内的關係を獨裁國家への憎惡に向けしめんとしてゐるのである。

△

かくて米國が尨大な軍備擴張を楯に歩まんとしてゐる所は、民族興隆國家の發展を自國の帝國主義的野望に依つて抑止せんとするものである、而かもルーズベルト大統領が、獨占資本の要望に從つて與へた對支借欵を始め、陸軍長官及び參謀長の反對を抑壓して獨斷的に佛蘭西への軍用機輸出許可を一航空機會社の要望に應じて與へ南米への日・獨、伊の經濟的進出を封壓せんとするドル外交政策を財務次官の辭任を敢てせしめて敢行する等、一般輿論の反對を巧みに誘導して、その獨裁的傾向を濃化しつゝある、換言すればルーズベルト大統領は自國の民主制を犧牲にする獨裁的傾向に走ることなく國内の對立を統一し世界の民主制を擁護することを豫想せしめる、之は佛蘭西がそのデモクラシーの故に慘めなる敗退を續けたと同樣に民主國家の苦悶であらう。

△

だが然し、米國はルーズベルトの尨大な軍備擴張費を包含する豫算教書を丸呑みにし、建艦に、空軍擴張に、海軍及航空根據地の太平洋沿岸及び太平洋諸島嶼への新設擴充に狂奔するであらう、米國の軍備擴張と共に世界平和の危機がより深められるであらうことは自明である。

米國は果して世界の民主制を擁護するか

日獨伊樞軸の幻影に怯えるル大統領

大軍擴絶叫の心理を衝く

△

民主制國家世界最後の砦とも喩え得べき米國が民主制擁護、全體主義攻擊を絶叫して、ルーズベルト大統領をして獨裁的政治に走らしめ、自國の民主制に亀裂を生ぜしめ、陸軍側の總辭職を危惧され財務次官テラーの辭任を觀るに到つた、米國がその傳統的孤立主義を放棄せんとして輿論の紛叫は、内政の破綻と共に米國の苦悶と言ひ得るであらう。

米國はその地位に助けられて繁榮をから得た民主制と、世界平和及び國際信義とに對する信念に執着してゐる、民主制こそ世界平和の根幹であると言ふのが、世界大戰以來の米國大統領の信條である。

△

然し、ルーズベルト大統領が代表する獨裁國家の所謂侵略行爲への憎惡は、かたらしめた、ヴエルサイユ體制に依る世界平和は英、米の世界制覇であつたが此の體制は日、獨、伊の建設する新たなる世界秩序によつて代られねばならなくなつた。

而してルーズベルト大統領の國境ライン河説も民主制擁護といふ麗辭中にあるのではなく、それは獨、伊樞軸に對する英、佛の牽制不能が招來する米國自身が感ずる政治的經濟的脅威であり、高文化の歐洲市場の喪失による損失に基くものである、ラテン・アメリカへの防共樞軸の政治的經濟的進出が、米國の繁榮を妨害する侵略行爲であり、米國に對するラテン・アメリカの民族興隆と發展は、歐洲に於ける英、佛の國際的地位を低下せしめた、フランコ將軍の勝利は此の關係を決定的ならしめた、ヴエルサイユ體制に依る世界平和は英、米の世界制覇であつたが此の體制は日、獨、伊の建設する新たなる世界秩序によつて代られねばならなくなつた。

△

新興獨、伊兩國家の民族興隆と發展は、歐洲に於ける英、佛の國際的地位を低下せしめた、フランコ將軍の勝利は此の關係を決定的ならしめた、ヴエルサイユ體制に依る世界平和は英、米の世界制覇であつたが此の體制は日、獨、伊の建設する新たなる世界秩序によつて代られねばならなくなつた。

而してルーズベルト大統領の國境ライン河説も民主制擁護といふ麗辭中にあるのではなく、それは獨、伊樞軸に對する英、佛の牽制不能が招來する米國自身が感ずる政治的經濟的脅威であり、高文化の歐洲市場の喪失による損失に基くものである、ラテン・アメリカへの防共樞軸の政治的經濟的進出が、米國の繁榮を妨害する侵略行爲であり、米國に對するラテン・アメリカの民族興隆と發展は、歐洲に於ける英、佛の國際的地位を低下せしめた、フランコ將軍の勝利は此の關係を決定的ならしめた、ヴエルサイユ體制に依る世界平和は英、米の世界制覇であつたが此の體制は日、獨、伊の建設する新たなる世界秩序によつて代られねばならなくなつた。

△

米國が英、佛と共同歩調をとり寄る對支借欵、對日禁輸等、その積極的態度を取るに至つたのも、米國の利害が命ずる所である、通商、文化、傳道等米國か海南島に關係を有するといふ理由こそ、米國の對支野望の將來性を窺はしめる。

△

米國の國内事情も亦、米國の民主制擁護、獨裁國家の攻擊へ向はしめる重大な動機である、重要產業の不振(重工業の七〇%操短)ユダヤ系財閥の政治的策動、一千萬を遙かに越える失業者群、階級的對立の激化、思想的動搖等々、之等の國内矛盾がナチズム・ファシズムを擡頭せしめることの恐怖と共にルーズベルト大統領の國内對策の破綻は全體主義國の侵略への憎惡と攻擊を煽動することに依つて輿論の轉換を余儀なくせしめたことも事實である、ルーズベルト大統領があらゆる機會をとらへて獨裁國家への攻擊を絶叫し、米國のかうむる脅威を强調して、ある事に依つて對内的關係を獨裁國家への憎惡に向けしめんとしてゐるのである。

△

かくて米國が尨大な軍備擴張を楯に歩まんとしてゐる所は、民族興隆國家の發展を自國の帝國主義的野望に依つて抑止せんとするものである、而かもルーズベルト大統領が、獨占資本の要望に從つて與へた對支借欵を始め、陸軍長官及び參謀長の反對を抑壓して獨斷的に佛蘭西への軍用機輸出許可を一航空機會社の要望に應じて與へ南米への日・獨、伊の經濟的進出を封壓せんとするドル外交政策を財務次官の辭任を敢てせしめて敢行する等、一般輿論の反對を巧みに誘導して、その獨裁的傾向を濃化しつゝある、換言すればルーズベルト大統領は自國の民主制を犧牲にする獨裁的傾向に走ることなく國内の對立を統一し世界の民主制を擁護することを豫想せしめる、之は佛蘭西がそのデモクラシーの故に慘めなる敗退を續けたと同樣に民主國家の苦悶であらう。

△

だが然し、米國はルーズベルトの尨大な軍備擴張費を包含する豫算教書を丸呑みにし、建艦に、空軍擴張に、海軍及航空根據地の太平洋沿岸及び太平洋諸島嶼への新設擴充に狂奔するであらう、米國の軍備擴張と共に世界平和の危機がより深められるであらうことは自明である。

今週話題

よもやま

支那に米機三百台

○――○

重慶電の報によれば、國民政府に對し一千五百万弗のクレヂットを許容せるアメリカ飛行會社は合計三社で、戰鬪機、輕爆擊機、練習機、合計三百機以上を供給する事になつて居り、發送開始の時期は大体六月頃の豫定である然るに、空軍が右輸送船を爆擊するを恐れ一荷扱ひすることを肯んぜず、遂にマニラ及び香港で一時立往生した例もあり、かつ法外に巨額の保險料を支拂はねばならぬので、今回はか、る輸送上の遲滯と經費のか、るを避けるため何等かの手段を講ずると共に、積出しは一切極秘裡に行ふ計畫であるといはれる。

映畫國策實施

外務省情報部では新法案の成立を機會に河相情報部長小川書記官以下情報部を中心に外務省に映畫委員會を設置して、外交國策の見地よりして映畫の國際的取締りを所轄當局に要望實現を圖る事となつた、同省の調査によると最近映畫の國際性の增大にともなひ、各國の映畫取締りは國内から國外へと極めて强化され、在外各國大公使館より外務省へ上映禁止を申し入れた映畫が非常に多く、其の都度外務省では慎重研究の上内務省檢察當局へ繁雜なる手續きを踏んで來た、これ等從來の經驗にかんがみ、外務當局では友邦關係を尊重しながら、あくまで日本獨自の立場から如何なる外國映畫を上映すべきかを決定すると共に一歩進んで如何なる日本映畫を海外で上映すべきかを決定、從來外國の事情にうといため國辱映畫を輸出したり、あるひは國内で見せて差支へないものを禁止するやうな弊害を矯正し、正しい映畫國策に協力する意向である。

宰相の忙中閒

平沼首相は去月二十一日午後六時から華族會館に開らかれた貴族院議員井上通泰博士の萬葉集講義會にひよこり姿を現はし

大隈侯、二荒、柳原兩伯有馬、眞崎兩大將、南樞密顧問官、池田前藏相等約二十名、この會合の常連と一緒に一時間余に亘つて井上博士の萬葉講義を聽いた

首相はこの會の講義會が一條公萬葉會と云つて、去る昭和三年一條公邸に開かれて以來毎月一回の例會にも欠席したことがないと云ふから、首相の萬葉へ精進も隨分古い譯けであるが、あの謹厳そのもの、やうな老獪身首相が情熱の萬葉を愛誦して居たことは一寸意外だらう

波立てば奈良の浦べに寄る貝の間無き戀にぞ年は經にける

井上博士の講義を默々として聽いて居た平沼さんが、古人の情熱が胸にしみてか『間無き戀』のところでかすかに微笑んだ、平沼さんにとつては首相になつて以來始めての閑日月であつた

二世が米國大學教授

米國ワシントン大學では去月から現東洋史學科主任教授ロバート・ボラード博士の後任に目下我が外務省引きとつて貰つて日本に歸つた、一方宏雄君は段々成長してワシントン大學を優等で卒業すると共に助教授に任命されて學校に殘り、昭和十一年十一月在シヤトル領事(現在シンガポール總領事)の斡旋で外務省招致學生として來朝、東大國文科の聽講生となつて居たもので、今年十月歸國の豫定であつたが突然の歸國命令に急遽歸國して教壇に立つことになつたものである眞木君の如きは第二世中でも珍らしい例として各方面より其將來を嘱望され且つ注目されて居る譯である。

日本は昭和十六年迄に日滿支を通じ自給自足

青木企畫院總裁の說明速記

這般の衆議院の豫算總會で、民政黨代議士の質問に對し、青木企劃院總裁の生產擴充計畫說明速記は左の如きものである。

△

秘密會において申し述べました生產力擴充計畫の計數を發表した方がよいといふ御意見と拜されたのでありますが、仰せの如く政府の計畫して居ります生產力擴充計畫の内容は貧弱なものではありません、これが實現いたしますれば、我が經濟力、ひいては、我が國の防力は面目を一新するのであります、これを國民に知らせるといふことは、前途に多大の期待を與へるものであり、この点同感であります

また、これを實行して行く上に於いて單に政府の力だけでなく、民間の營業者その他と協力しなければならないことも事實であります、然るにも拘はらず、何が故にこの計數を發表しないかといふ点は、これは專ら外國との關係でありまして、

【(3)二面へつゞく】

CASA TOZAN LTDA.
COMMISSARIOS
Phone: 2105 e 2106 - Endereço Teleg. "TOZAN"
Praca Maua, 25 - Caixa Postal, 911
SANTOS

珈琲コミッサリオ
カーザ東山
東山銀行
伯貨定期預金
一ケ年 六歩

サンパウロ事務所
ルア・フロレンシオ・デ・アブレウ 七四―七六
郵函 五二八 サンパウロ
電話 三一一一四一番
三一一一四二番
三一一一四三番

リンス事務所
アベニーダ ボルンタリオ ロザリーノ シルバ一四七
郵函 一一一番
電話 一四七

Banco Especie de Yokohama, Ltd.
The Yokohama Specie Bank, Ltd
Rua da Candelaria No, 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

切り取つて手紙の表にはられたし

◆伯貨預金
定期預金六ケ月以上利率當分年三歩五厘の割であります
外に當座預金特別當座預金など御便宜御取扱ひ申上げます

◆日本貨預金

◆鄉里送金
新爲替管理令により内地向送金は一口五百ミルを許可さるゝ事となりました、但し送金許可獲得には多少の遲延は免かれません
尙新令により特別税として送金額の一割(一〇%)を、ブラジル銀行へ納入せねばなりませんから送金額以外に一割(一〇%)の金額を加へ御送金下さい、特別税一割(一〇%)御送金なき時は御送金金額中より差引き殘額内地向送金申上げる事と致します

横濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店

說園

皇道は全體主義でない

在東京　森吉義旭

（二）

政治の方面に於ては、政黨の對立があつて國力日々に衰退して居たが思想の方面に於ては、惡思想猖獗して伊、獨は正に國家瓦解の危機に見舞れて居た、惡思想とは何か其れは個人主義自由主義、民主々義、社會主義である、此等の思想は凡て個人の利益と個人の自由と平等との實現を目的として居り全體の利益、全體の存在とを目的として居ないのである、玆に於て何とかして此等の惡思想を克服して此等の惡思想に代るべき健全なる新思想の出現することを國民が等しく翹望して居たのである。

右の如き政治的危機、思想的危機に遭遇して、此等の危機を突破するの必要に迫られて玆に全體主義が出現したのである。

此全體主義を振り翳して打つて出たる者が、伊人利に於ては『ベニート・ムツソリーニ』であつた、獨逸に於ては『アドルフ・ヒツトラー』であつた、然して『ムツソリーニ』にせよ『ヒツトラー』にせよ、如何にして此全體主義を考へ出したかと云へば、彼等は全體主義を考へ出したのではない、彼等は全體主義を身を以て體驗したのである、伊獨の全體主義は體驗から生れ出たものである、然らば彼等は如何にして全體主義を體驗したか？　それは彼等が戰爭に依りて體驗したのである。

人も知る如く『ムツソリーニ』は軍曹である、鬼軍曹である『ヒツトラー』は伍長である。（後少尉に任官した）『ムツソリーニ』は『ゾンム』の要塞に於て勇戰した、或る日敵彈壓擊へ飛來し『ムツソリーニ』は身に四十二ケ所の破片を受けて氣絕した、蘇生して此世の者となつた時、彼は魔藥を用ひずして四十二ケ所の手術を受けた彼の豪勇は今も尙ほ世人の談り草となつて居る。

『ヒツトラー』も『ムツソリーニ』に劣らず『ミユンヘン』の『バヤリア』聯隊の志願兵として出征し、決死隊に參加した、一度は左脚を負傷し、二度目には毒ガスに眼をやられた勇士である

此兩英雄は戰場に於て、戰線勇士の生活を體驗して全體主義のイデーを體得したのである、戰線勇士は階級鬪爭意識は毫末もなく個人の利益などは彼等の念頭にはなかつた、彼等戰線勇士の生活は兄弟である——一本の煙草も分けて喫み、着いた手紙を見せ合ひ彼等の談るところは祖國の勝利と明日の武勳とである。

此戰線勇士の生活を體驗した『ムツソリーニ』及び『ヒツトラー』は、祖國を救濟するものは是である、對立意識を去り、個人の利益を求めず祖國の利益を目標とすべきである、國民全體が一致團結して國家の爲めに盡すことこそ、祖國を救濟する眞理であると悟つたのである

斯の如く『ムツソリーニ』『ヒツトラー』は、此體驗からして全體主義を標榜するに至つたのである。

右の如く伊、獨の全體主義は體驗から生じたものであつて、理論的歸結として生れ出たものではない。

然し、時恰も一九二一年維也大學の社會學者、經濟學者『オトマール・シユバン』教授が『眞正國家論』を出版して、全體主義論を世に送つた『シユバン』の說は時流に適應して居ると見て、一九二一年十月三十日『ムツソリーニ』が天下を掌握すると同時に『ファツショ』陳營の近眼者共が『シユバン』の全體主義理論を採用したのである、此時から『シユバン』の全體主義が各國に於て喧傳せられるに至つたのである。

然し乍ら、理論の國獨逸は、流石に識者ありて『シユバン』の全體主義理論を皮相なりとして之を採用せず『ヘーゲル』の國家論、歷史哲學に準據して居る。

さて予の見るところに依れば『シユバン』の社會學的全體主義理論は成立しない『ヘーゲル』理論こそ歐洲的全體主義を成立せしむるものである、然るに、我國の學者、文筆家共は深き哲學的考察を爲すことなく時流に便乘して『シユバン』の學說を祖述して居る。

予は歐洲的全體主義を成立せしむる理論は、『ヘーゲル』の國家有機體說であると考へるが、然し此『ヘーゲル』の理論は伊太利に於ても、獨逸に於ても、適合しないものと考へる、何故であるか、其は伊太利に於ても、ドイツに於ても理論的國家が完全でないからである。

謎の銃後献金婦人會

總領事館再調査に全會員を呼び出す
叩けば叩くほどボロを出す事ばかり

本腰になつた總領事館

本紙前號所報の？符附き在聖市毋國銃後獻金婦人會の始末につき、檢閱に乘り出した在サンパウロ帝國總領事館に於ては、唯だ一部の會員——問題の屆會獻金取扱ゞ獨斷で勝手放題・出去り、個人の利益を求めず祖國の利益を目標とすべきである、國民全體が一致團結して國家の爲めに盡すことこそ、祖國を救濟する眞理であると悟つたのである

斯の如く『ムツソリーニ』『ヒツトラー』は、此體驗からして全體主義を標榜するに至つたのである。

右の如く伊、獨の全體主義は體驗から生じたものであつて、理論的歸結として生れ出たものではない。

然し、時恰も一九二一年維也大學の社會學者、經濟學者『オトマール・シユバン』教授が『眞正國家論』を出版して、全體主義論を世に送つた『シユバン』の說は時流に適應して居ると見て、一九二一年十月三十日『ムツソリーニ』が天下を掌握すると同時に『ファツショ』陳營の近眼者共が『シユバン』の全體主義理論を採用したのである、此時から『シユバン』の全體主義が各國に於て喧傳せられるに至つたのである。

然し乍ら、理論の國獨逸は、流石に識者ありて『シユバン』の全體主義理論を皮相なりとして之を採用せず『ヘーゲル』の國家論、歷史哲學に準據して居る。

さて予の見るところに依れば『シユバン』の社會學的全體主義理論は成立しない『ヘーゲル』理論こそ歐洲的全體主義を成立せしむるものである、然るに、我國の學者、文筆家共は深き哲學的考察を爲すことなく時流に便乘して『シユバン』の學說を祖述して居る。

予は歐洲的全體主義を成立せしむる理論は、『ヘーゲル』の國家有機體說であると考へるが、然し此『ヘーゲル』の理論は伊太利に於ても、獨逸に於ても、適合しないものと考へる、何故であるか、其は伊太利に於ても、ドイツに於ても理論的國家が完全でないからである。

『會員一同なんて私達の名をかたり黑木某が勝手にラシンバンと共謀して新聞に出鱈目を發表し世間をタバカルとは實に怪しからん事だ！』

『待つて居ました』とばかり定刻には殆んど殘りなく出頭したのであるが、出席者の顏色は誰れも彼れも義憤に激し公憤に怒つて居たが、母國の非常時に萬里の異境から報國の萬分の一でも捧げたいと赤い心を燃した日本婦人として、まことに、さもあるべき事とうなづかれた。

當日は先づ野替副領事の挨拶を以て始まり相澤、藤本兩書記生及び福川囑托等執れも緊張して愼重調査に臨んだが、領事館としては在留同胞銃後の赤誠を飽くまで徹底的に同會の收支籠れるものなれば最後の最後まで徹底的に同會の收支を明かならしめらゝやう一段々盡力を望んで止まないものである。

△

乃ち、第一回の分は前週詳報した通りであるが、その際疑問符として殘された第一獨金の送金殘八百七十二ミルの行衛？

第二愛國婦人會宛送金した獨金額と愛國婦人會本部より來た禮狀との差額二百圓余（伯貨約一コント余）の出所？

第三獨金に對する銀行利子の費途？

第四其他雜費の明細書

△

先づ第一の

●獨金の送金殘八百七十二ミルの行衛

に該當する釋明書に關し、黑木本人の申立てに依ると該釋明書は領事館側に指圖されて新聞に出したのだと云ひ張るも、領事館としては、絕對に斯かる指圖は爲さゞりし事の辯明に領事館側（但し黑木を除いて）の諒解は成つた譯である、そして事實あの釋明書なるものはラシンバンの辻本と黑木會員のみに依りデツチ上げられた事と判明、その上前號本紙で報道した黑『あれは遠藤（書店）とラシンバンで獨金興行をして戴いた折の分ですよ』その時案外損をしましてねエ、その欠損が七百ミルつて始末でしたから、その方の穴埋めに使ひました』

と云ふ申立て及び釋明書中の獨金としてゞ無く、費用にとて戴いたものを女の名譽心から一文でも多く獨金へと發表したのは間違でした、會員一同より深くお詫びする云々の言葉は全く世の中をたばかる出鱈目で、尙その帳簿を（その當時に興行したシネマの收支決算書）を檢査の結果、八百七十ミルの外にまた〳〵一コント行衛不明となつた。

今日迄に判明した行衛不明の金

金一コント八百七十二ミルレース也

右は前後二回に亘り總領事館で、婦人會の帳簿檢閱の結果發見されしもの、本月三十一日迄に、委員より改めて報告書を總領事館へ提出する事になつたが、費途不明の金はまだ〳〵出て來るものと想像されてゐる。

『昭和十二年十月結成相成リタル聖市在伯母國銃後獻金婦人會取扱ニ係ル獻金ニ關シ承知致度キ儀有之ニ付キ本月二十三日午后二時半（參考資料等アラバ携行ノ上）當館に御出向煩煩度此段申進ス』と關係者一同を招集した。

當日は僅々四、五の人々を除く外殆んど大部分の關係者が領事館の會議室に顏をならべたのであるが、同會々員一同及びラシンバン社の名を以て此頃各紙に發表した『釋明書』に對し一段憤慨した會員達は、

△

『今日は新聞社の方は遠慮して貰ひませう、私一人なら好いけど皆さんへ濟みませんから、それにあんなデタラメ記事を書くあんたの社なんかね』と記者が椅子につくを待つて場所柄をわきまへぬ悲鳴ぶりに一同開いた口が塞がらぬ態、デタラメか眞實かは讀者の判斷に任かせて、終りに聲くとも日本婦人としての血を承けてゐるならば、もつと人間らしく母國非常時にする女らしく、あからさまにすべてを投げ出して何故あやまらぬ、なまじひ强情を突つ張る因果應報として今迄人に知られなかつた一コントが新しく費途不明の金として出て來たではないか、それをしも『それは黑木個人の名で立派に一コント寄附します、ハイ』と、かりに人の金を盜んだ者がポリシヤに引かれての金を辯償すればそれで好いのか、考へて見るが良い、この强情さがつまりは身の破滅となつて、あつたら同情者を憤慨させる所以である、昔から『あやまちを悔る改むるに憚る事勿れ』と云ふではないか、今將に消えかゝらんとする蠟燭の火を前にして斷末魔の狂乱は醜き限り、心ある者は正視するに忍びない。

【第一面よりつゞく】

國民に對して一人殘らず知つて頂きたいと思ひますが、御承知の通り今日は戰爭中で、しかも現在及び將來の戰ひは、國力戰の形をとつて來るのでありまして全体の國力を外國に測定する材料をあたへると云ふことは、國防計畫の上から避けなければならぬと云ふ大きな矛盾を感ずるのでありますが、外國に對して國力を知らせないといふ程度に於いて、生產力擴充計畫の大体を說明致します。

昭和十三年度を基礎としまして、十六年度に於いてこの計畫が完成いたしました場合、どの分の割合で增產するかといふ大体の割合を申し上げます、鋼材に於きましては普通鋼が約六割の增產になります、特殊鋼及び鍛鑄鋼は約二倍近くの增產となるのであります、鋼塊は約六割增、銑鐵は約二倍、鐵鑛二倍と五割石炭は三割强、何れも增產の割合であります、尙ほ念のため申し上げますが、輕金屬につきましては、先きほど申し上げました軍用資源たる性質が一層强いのでありますから『アルミニユーム』につきましては數倍といふ程度に御諒承を願ひます『マグネシユーム』につきましては、十倍近くの增產といふ風に御諒承を願ひます、銅は八割强、鉛は約九割、亞鉛は約七割、錫は倍額程度の增產になります、石油及びその代用燃料につきましては、自動車の揮發油は天然の分は三割强を增し、人造石油の分が約三十倍となります。

重油は天然の分が約四割增、人造の分が約九倍となります、無水アルコールは十三倍强の程度であります曹達灰は、二割强、苛性曹達が四割强、工業塩は六倍半、『硫酸アンモニア』が約四割、『パルプ』は製紙用が約二割、人絹用、が三倍と二割强、金が二割强、工作機械が二倍と六割强、機關車が約三割、客車が七割强、貨車が約五割、自動車が五倍强、羊毛が三倍と四割、大体この程度と御諒承を願います、昭和十六年末におきまして日、滿、支を通じて大体自給自足の目的を達し得る品目は、鐵鋼石炭、輕金屬、亞鉛、曹達硫安、バルブ、鐵道車輛、自動車、船舶等であります

十四年度の物資動員計畫は只今立案中でありますので、未だ正式の決定を見る迄に、國防計畫の上から、國力戰の形を考へまして、國防計畫の上から、國力戰の形を考へまして、國防計畫の上から、國力戰の形を考へまして

重慶の斷末魔

將は疲勞困惑で神經衰弱

【香港發】支那外交界の某元老は五中全會に列席し香港に歸着したが信賴する某外國人に左の興味ある物語りをした

◇

余は二年ぶりに重慶で將介石と會見したが、事變前南京で會つた時の彼と昨今の彼の姿の激變は全く想像も出來ないほどで、蓬くばかりであつた、現在の蔣は疲勞困憊しきつて居て、非常に老けて居る、この二ケ年彼れは十も十五も一度に年をよつたかの如き老衰ぶりで、禿げ殘つた頭髮は灰色化し、体はやせて体量も相當減じ、今もなほ彼の持病である齒痛のために大變惱やまされて居るのは痛々しいくらゐであつた戰況の不利と身体の不快な關係であらうが、蔣は元來容易に喜怒哀樂を顏に現はさなかつたのが、昨今では大へんな癇癪持になつて一寸したことでも直ぐ周圍のものに當り散らして居る。

◇

朝は早くから眼をさまし睡眠は六時間しか取らない日本の荒鷲軍の奇襲や、反蔣派の暗殺を警戒するためであるが、轉々その居所をかへ、少しも同じ所には住まない、あれ程に仲のよかつた宋美齡とも別居し、さし向ひで睦まじく語ることもなく、二人が別々に、勝手に自分のすきなものをコツクに命じ默々として食事を取つて居る、蔣は大變な辛好きで、どんな時でも白くなるほど壺をぶつかけて食ふのだが、宋美齡はいよ〳〵本性をあらはして、そんな野蠻な辛いものを食べたくないと反對し、自分は好物の廣東料理に舌打ちしながら、淋しさうに一人で食べてゐる、蔣があれほどに愛してゐた宋美齡を、最近になつて遠ざけだした主なる理由は、彼の側近者の話しによれば、大体宋美齡が蔣政權空軍の實權を掌握し、彼女が外國に注文して取りよせた飛行機の大部分が、使用に堪へられないやうなボロ飛行機で、蔣の部下、將領や共產軍方面からの宋美齡に對する攻擊の矢は蔣に廻つて來て將自身が困つてゐるからである。

なぜ宋美齡が空軍の實權を握つて居るか、その間の消息は、支那の財政が誰の手で動かされて居るかを知つて居るものにはすぐうなづかれる事だ、敗戰後宋美齡は財布の紐をしつかり握り將が必要なだけの金をも出さない有樣である、從つて將の思ふやうな機密の仕事もやりにくくなつて來てその結果は猛烈な夫婦喧嘩がおつぱじまつたのである

この緊急時機に、こうしたことをされゝば、將としても憤慨するのは當然であるそれにもう一つ宋美齡には妙なくせがある、といふのは、將が處罰したり、または嫌つて居るやうな者を非常にかばふのである、たとへば張學良や劉峙の如き、將から處罰されて居ながら依然國都の眞中でのさばり劉峙の如きは重慶の衛戍司令官を命ぜられたのも、みな宋美齡の指金である、こうした關係から最近では將と宋美齡の關係は、あだかも對角線の如くにぐん〳〵離れて

昔

つゝましやかに神の前に共に祈つた時の床しい思ひ出を、宋美齡が頭にうかべて、たまに將に會つたやうな時、とんでもない前線からの敗戰の報道が來る、いらだつた氣持ちを抑へて宋美齡は前線兵士たちのために祈つて下さいと迫るや、將は決然としてその昔の熱心なる信仰からはなれて現實の敗戰を心痛するのあまり『お祈りなんて迷信めいたことは出來ない』と吐き出すやうにいつて無言の孤立と、寂寞の冥想に沈んでしまふ、なすこと、することが夫婦の間により大きなひゞを來すのみで、喧嘩した後では宋美齡はどうにも手のつけやうがなくなつたと將の横から離れ、香港にでも飛び出さうと飛行場に

逃

げ出したことが僅かの間に二回もあつたが、その都度抗戰時期に宋美齡の逃げ出すことは國民の士氣に影響するとて、早速人を飛行場に廻して連れもどされて居る、この始末の惡い夫婦喧嘩には將の義兄に當る孔祥照も、なんとかして仲裁してやらうと苦心して居るが、ほと〳〵弱つて居るとのことである、戰局に對して將は『目下のところソ聯と、英國に信賴する外に途はないそれも實は色々約束にほだされて居るからだ』と語つて居たといふ

死んだ娘戀しさに遂に腹を割く

ミイラにして保存を企て

【リオ發】ヴエラ、マウエリ、ロツベス夫人は蝶よ花よと愛した一人娘のローザ（七ツ）が、藥餌の甲斐なく遂に他界したのに悲觀の末、せめて死體のまゝ、永久に己が傍らに在らしめたらと云ふ、偏に我が子戀しとする母親の至情かも、死體をミイラにして保存する事に決心し、窃に自らメスを執り娘の腹部を切り開き臟腑を引き出して香料や防腐劑を詰めて居た事を、その筋から感づかれて遂に檢擧された。

取調べの結果最初は子供殺の嫌疑を受けてゐたが數日前その

疑

もはれて歸宅を許されたが、今度は改めて死體冒瀆罪として起訴された尙之れと同樣の事件は一昨年イタリーに於て某貴族が死んだ娘をミイラにして、或る日曜日の朝自動車に乘せてパツシーアして居たところを見附けられ起訴された——と當時大評判になつてゐたが今度の事件も殆んど其れと同じ樣である。

實は泥棒

偽裝乞食

物を請ふ乞食

此頃市内の屋敷町をうろつき廻る偽裝乞食がラドロンとして其筋に檢擧された、此奴は數年前は强盜犯で幾度も別莊に送られたことのあるベネヂト、タバレスと云ふ有名な兇狀持ちで、强盜稼業では余りに顏が知れて居るので働きにくくなつたところから、方向

偽裝乞食に注意

を轉じて『目下東京各新聞の論調も略同一にて』日本は支那と交戰已に二年を經過しつゝ常に最も大なる障害となつて居るものは、實に租界である、租界問題の解決は戰果に伴なふ必至の處置であるから、如何なる難關に遭遇するも合理的に解決

不可思議

先日は五人の子供、今度はボアエスペランサで四人子が生れたと云つて只今新聞では大騒ぎをしてゐますそこでブラジル人に限らずまた日本人に限らず一夫婦の間に幾通りの子供が出來るか、御存知ですか？ 人間は多くて一腹で二十幾人少くて一人かそこいらの子供しか生まないから、誰れもそんな面倒なことを考へて見ないでせうが、生殖細胞の染色體から起算して行きますと、實にこの二十四乘種の子供が出來得るわけになります。

○

詳細な計算はそちらにお委せするとして、何しろ莫大な數ではありませんか、今假りに地球上の人口を十七億とします、そして其の半分が男、半分が女としますと子供とあり、そう算盤のやうには行かないでせうが、兎に角六七億組の夫婦が出來得るでせう。

○

して見ると一組の間にこの二十四乘種の子供が有り得るとしますと、其の六七億組が一回子供を産む度にその六乃至七億倍の變つた子供が、從つて有り得るわけであり、人間が同じ姿、同じ形でありながら全く同等な二人は決して無いと云ふ理が、今更しみ〴〵と味はれるわけであります。

○

生物界には不變と云ふことが決してなく、若し不變があれば則ち滅亡の運が伴なふ事になるのです、生物界を通じて不變な事は則ち『變化』すると云ふ一事であります、よく考へて下さい、決してヨタや胡麻化しではありません。

○

染色體と遺傳を盛り、その組み合せの千變萬化の中に變異を籠め、かくして出生せしめられたものが生物であります、若し之れを天意と申せば嘘はれるでせうが、甚だ微妙に出來たものではありませんか、不思議とか大意と云へば時代後れの事をぬかす奴ちやと言ふ人があるかも知れませんが天意不思議と解釋しても一向差つかへないと思ひます如何でせうか。

今後の經濟生活協同經濟理論

經濟學博士　本位田祥男

（十）

國家がさういふ譜はゞ國家的な欲望を持ち戰爭を遂行する上に於て、どうしても飛行機が無ければならぬし、軍艦が無ければならないと云ふ其の欲望を滿たす爲めにアルミユームが輸入されるのであります、吾々が統制を行はなければならぬといふ事は、譜はゞ國家的な欲望を滿足するために個人の欲望を犧牲にする事であります。

○

ですから決してさういふ場合にもそれは經濟に關する限り欲望を離れることは出來ない、唯社會的に見てより重要な欲望のために、より小さな欲望、より低い欲望を犧牲にすることが必要になつて來るのであります。

又電力管理といふことが今日問題になつて居りますが、この電力が日本の六千万の利用者に或は燈火なり或は照明なり或は動力を供給して居る、此の殆ど全部の日本國民の欲望を滿足させるために電力といふものが統制されなければならぬ、さういふ場合にこの日本全國民の欲望と比較せられるものは何であるかと云ひますと、電力會社の株主、或は電力會社の從業員の欲望であります。

さう云ふ人々の欲望を滿足させる爲にのみ經營されるならば、それは所謂私の利益を得る爲に其の事業が經營されることになる譯であります。

○

ですから苟くも經濟である限りは常に欲望を離れる事は出來ないが、然しその欲望が決してそれを經營して居る人だけの欲望でなくして國家の欲望であり又國民全體の欲望であるといふ場合に初めて其所に人々を納得させる一つの生活態度であります。

經濟生活態度といふものが出て來るのであります、さういふ場合に、吾々が個人の利益を離れて社會全體の欲望を滿足させるといふ時に、其の事業が經營される譯で、總ての生命の主體は自分の利益なればいとて一つの道德律が出て來る、といふ事はそれは客觀的なもの、吾々より大きな社會が吾々に一つの命令を下す、その命令を自分の中に感じて自分の行動を規律する時に初めて道德的意識が出て來る、ですからこの經濟は道德と調和しなければならない。

○

決して欲望滿足の爲だけに經濟を營んではいけないといふ事は、それは社會の欲望滿足のために經濟を營まなければならぬと云ふことであります、社會の消費の爲に、國家の欲望滿足のために經濟を營まねばならぬ、言ひ換へれば全體に奉仕する爲に、全體にサービスするために、自分の經濟生活を營まなければならぬ

○

さういふ意識に到達した時に初めて道德と經濟との調和が出來るのであります、だから經濟を全人格の活動として滿足することの出來る世界は、是は欲望を否定することでなくして、欲望を擴くして社會全體の欲望とする時に初めてさう云ふ意識に到達することが出來るものであると、私は確信するものであります。

有情無情

本紙前號に於て詳論した支那の租界（特に上海）問題は愈々事面倒となるらしく英米佛の三國は同一歩調を取り、飽くまで我方の要求を斥けんとして居る、之れ

○

恩賜財團軍人援護會に對し三菱代表岩崎小彌太男より二百万圓、三井代表三井高公男より二百万圓、住友代表住友吉左衛門男より百五十万圓の寄附申出があり同會に對する寄附金は二千三百十七万九千四百圓に達した。

○

歐洲の新情勢に對應する日本政府の根本方針に就て大藏外務各相鳩首の結果漸く決定したので、平沼首相は同日午后一時半宮中に參內して畏き邊りに奏上した

○

歐洲列强注視の的となつてゐるアモイも遂に我海軍の果斷で數日來さかんに空襲爆擊を敢行して、我が空の威力を示して居るは痛快

○

十九日朝又亦露滿國境の當蹠鎭をソ聯兵が不法越境同時にハバロスク附近にては我が滿鐵從業員五名がソ聯兵に拉致された、その際彼我一名づゝの戰死者を出したと。

○

政友會では曾て鈴木總裁が床次竹次郎氏を排して腕で總裁の椅子を奪つた何年か前の無理が、今日となつて表面化し今期議會前後から總裁問題をめぐつて紛糾

○

白鳥情報部長をカン〳〵にさせたので、日本では有名になつたステムソン氏を名譽會長とする紐育の『日本侵略排擊米國委員會』は創立以來全國的に運動を開始し、第一に日本へ武器輸送を禁止すべしと聯邦議會に向つて運動をしてゐるが該委員會に贊同する大學教育家中國際關係の專門家四十四人の署名で聯邦政府に對し〔一〕戰爭物資の對日輸送を禁じ〔二〕支那の再建及び同國民に必要なる物資を購入せしむる爲め對支信用を設定し〔三〕壓迫せられつゝある支那人と指導を誤られてゐる日本人との間に恒久的の和解を速やかならしむべしと云ふ陳情書を提出せる旨公表した、該陳情書には日本が自發的に且つ合法的に華府軍縮條約及び倫敦條約を廢棄せるにも拘はらず『東洋の平和を害した』かの如き筆法を弄してゐる。

○

歐洲の加盟者は『ブラジルに於ける日本人の加盟信仰』に就て一場の講演を試みたが、今日までパードレ、キド師、ローソン師、中村師を初めローゼ、ホベル、キルシエルヅキスの諸師が隨分布教に骨折つて居るが、その結果は感心したものではない、在伯日本人の爲めには日本人の布教師を必要とする、その爲めに神學校を設立する事が急務であると說いた

▽……來月十七、八の兩日アラサツーバでパウルー管轄聯合日本人會第七回定期總會が開催されるが、今回は二千六百年祭紀念事業に關する件が本部より提案される由。

▽……クリチーバよりの報によれば同地に住む農夫パドロと云ふ者の女房マリアは怪物のやうな大きな女の子を產んだが、まだ二歲だのに体重卅八キロ瓦だと。

▽……セルジツペ州首都アラカジユーの市長ゴトフレド、チニス氏の談によると伯國中で同州が最大の石油鑛地帶だとのこと。

▽……元銃後婦人會の不祥事件は叩けば叩くほどボロを出すばかりだが、そのボロ屋の張本はホンの一人に過ぎないが、聖報を除く各社の若い者を若干の彙藥で抱く込もうと一生懸命になつて居ると云ふ事だ、例に依つて例の如くビールの二三本と五十ミルで正直な事が書けないとは情けない。

▽……擴張の爲移轉いたしました

和歌山旅館
サンパウロ市コンセレイロフルタード二七三
電話 二一八三四九
R. Cons. Furtado 273
Tel. 2-8349

（IIII）
書籍
工科女科醫科其他あらゆる方面の書籍を取揃へて居ります
英米の雜誌もお取次致します（爲替は其日の相場にて）
殊に日本人のお客樣を歡迎致します
R. Libero Badaro, 382 2º and. - Tel. 3-4225

Livros Inglezes e Americanos
Livraria Pan - Americana
ペードラ、ハルテンスタイン印
評判の靴下
薄利多賣
小間物及又物卸商
エスケイロ及エスケイロ用
A. TABACH & CIA
R. 25 de Março, 771 sob.
Tel. 2-5917 - S. Paulo
▽——是非一度御試シヲ乞フ
1111O

耕作用土地
安價にて賣りたし
場所サンパウロ鐵道のペルース驛
地券は絶對確實（現在迄五十年間の所有証券あり）
お望みに依り小區域に分けても賣ります
御照會は
R. Dr. Clementino 608
Tel. 2-0329 S. Paulo

主要產物市況
●カフエー（四級品）一九、九〇〇
●アルゴドン（五級品）四八、〇〇〇
●白米（アゲーリヤ）買値 六三、〇〇〇
エストラ 五二、〇〇〇
ボン 賣値
●フエジヨン 四七、〇〇〇
ムラチーニヨ 同上ボン 四五、〇〇〇
●ミーリヨ 一五、六〇〇
アマレリニヨ 一四、一〇〇
アマレロン 賣値
●バタチンニヤ 三一、〇〇〇
スペリオル 二八、〇〇〇
ボ ア
●メリケン粉 一等品 四四、〇〇〇
●砂糖（白極上）六七、〇〇〇
●バンニヤ（箱）一八、〇〇〇
●マモーナ 五九、〇〇〇

來六月五日サントス着豫定
もんてびでお丸便
呼寄再渡航者
氏名
（呼寄移民）
福島縣人 猪狩タケヨ（外一名）
同 鈴木トシ
同 柴山キミ
神奈川縣 青山巖他一名
山梨縣人 望月萬子
岡山縣人 島村秋子
高知縣人 筒井春壽
熊本縣人 田代ツヤ子
同 中島ハツメ
沖縄縣人 外門シゲ
同 金城ヒデ 他一名
（再渡航者）
北海道 鴨川千代藏
東京府 甘利忠男 他二名
兵庫縣 羽賀喜之助
高知縣 谷坂直治
熊本縣 上村九九郎
沖縄縣 宮城ツル 他一名
以上
右ノ方々ハサントス港ニ於テ自由タルニ付各關係者ハサントス港迄御出迎有之度ク候
海外興業株式會社
移民部
伯國支店

急性
慢性 **痲病**
並に其併發症
膀胱炎コウ丸炎
攝護腺炎
精力減退
最新**キツテリング**
療法にて六時間乃至三十六時間内に全治せしむ
●診察時間午前九時より
ドトール
アンゼロ ベルトラミ
助手 **パウロ原口**
P. Ramos Azevedos 18 3º and. Salas 303 - 304 S. Paulo（四二）

外國人登錄
並に歸化取扱
手數料は安くて迅速に取扱ひます
J. FRANCO
Praça da Se, 9 E - 3º and. - Sala 11 Tel. 2-7826 S. Paulo（四二）

社告
野崎彌太郎
右弊社々員モジアナ線愛讀者各位を訪問致わせ候間何卒よろしく御配慮下され度御願申上げ候
五月廿四日
南米新報社

聖市グローリア街三五二
電話二一六八四八
淺倉齒科院
Rua da Gloria 352
S.Paulo
（Largo do S.Paulo）

小兒科專門
榮養不良、內分泌ニ關スル病氣、小兒神經病、呼吸消化器系及泌尿病
●小兒ノ喘息
●診察時間毎日午后二時ヨリ六時マデ
ドトール ミルトン
フオンセツカ
Predio da Casa Mappin 6º andar. Tel. 4-6834 Res: Tel. 8-3335（四二）

社員募集
求少年
社內の仕事見習生として十四五才の者數名採用、但し邦語教師の推薦狀携帶提示の事
求青年
事業擴張の爲め本社編輯部並に事務見習として中卒在伯五年以上の獨身青年、但し確實なる保證人を要す履歷書携帶來談あれ
南米新報社

▼賣地又は貸地（四二）
プ、ブルデンテ市內パラナ街道
●リベロン、レポージョの左岸
●カルロス、パラニヨス、プラガ氏所有地
一九三七年十二月十日聯邦令第五八號に依り一九三八年十一月十三日第十三號ゝ登錄濟
◇御照會は
CANDIDO NEVES
Patrimonio Pirapozinho P. Prudente

Dr. G. Christoffel
P. Republica 8 - S. PAULO
肝臟、胃腸、喘息、慢性氣管枝炎、心臟病梅毒等總て手術を施さずして根治せしむ
當方は獨逸ベルリンの專門病院にて榮養療法と物理療法に關し多年の經驗を有す
特に日本人諸君を歡迎します
●聖市ブラツサ レブブリカ八
ドトール クリストツフエル（八五）
（獨逸ベルリン及リオ醫科大學卒業）
▽診察時間
毎日午前九時より十一時
午后は三時より六時迄
土曜日は午前九時より十一時迄

MACHINA S. PAULO
棉花好條件ニテ購入致シマス
間崎
飯田
コンパニヤ
プロミツソン
電話 三一番

Casa Bancaria Imigratoria Ltda.
Matriz: R. Silv. Martins, 72 - C. Postal, 3015 S. Paulo
Filial: Est. Pedro de Toledo - L. Santos - Juquia
營業科目
各種預金を始め外國爲替取引を除く一般業務
新設ペドロ デ トレード支店も本店同樣御利用下さい
營業いし新と用信い舊……り誇のつ二
町ドーレト デロドペ店支●市ロウパンサ店本
限有
社會任責
海興銀行

Redacção e Administração
Rua Pires da Motta, 381 S. Paulo
Tel. 7-1614

NAMBEI SHIMPO

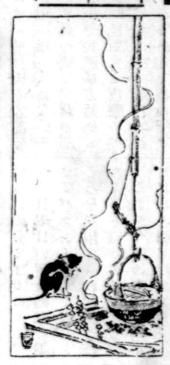
Director J. V. França (FUNDADOR JORGE SAKAIDA) Proprietario Paulo Iquenaga

S. Paulo, 25 de MAIO de 1939
(Fundado em 1928)

戲曲

槍武士道……(五)

千切光藏



金左『一昨日、五條の橋の袂でチラと見た姿が、作兵衛、貴樣によウ似て居つたぞ』

作『やツ』（心に愧づることがある）

金左『さては日頃の念願叶ふて再會出來るかと、小者にあとをつけさせて見たりや、表札に天野源左衛門とあると云ふ、それを聞いた時は嬉しかつたぞ、天野源左衛門なりや豫て知る作兵衛の隱し名然も訪ねて見れば思ひ懸けない平次とも逢ふ』

平『こつちも今まで貴樣の噂をしてゐた所だ』

作『いや、よく來て呉れた縫、縫』

お縫（茶の間から出て來る）『はい』

作『箕浦の小父上ぢや、金左見て呉れい縫も立派に成人致したろう』

金左『き、そのこと、今も餘りに亡きお菊殿に生き寫し、何と昔をそゞろ思ひおこしてのウ』

作『え、、措いて呉れ』

金左『フ、、、、、てれるな作兵衛、申せば古い昔ながら、貴樣とお菊殿との仲には世話を燒かせられたものだぞ』

平『金左もさうか、俺などは文の使ひまでさせられたものだ』

作『おウ、話にかまけて忘れてゐた、幸ひ、平次が持參の灘の銘酒、金左、一つ行かうぞ』

金左『おウ』（受ける）

作『生憎浪人暮し、嚢中不如意で、肴が思ふに任せぬが』

金左『何の、互の仲に何の氣兼が要ろう、それに、鳥目なればいくらでもあるぞ』

作『いや〳〵、それはそれとして又合力に預からうおウ、縫、一別以來の珍客、何か見つくろうてもてなしせい』

お縫『はい』もぢ〳〵する

作『はテて、金吾の噂はゆる〳〵聞かす、それより早う肴、肴』

お縫『あれ、さうでは……』（愧づかしがつて去る、茶の間で暫く思案の末、鏡を長い間覗いて、決心、出て行く、その間にも三人の酒盛と話は彈む）

金左『したが、變つた姿は平次、一體それは何の茶番だ』

平『茶番！ハ、、、、何をたわけた、之は之、正身正銘の班鳩平次が身過ぎ世過ぎの姿ぢやわい』

金左『身過ぎ？』

平次『おウ五人扶持の槍持奴、しかも鍛冶屋の虎之助の七貫匁の槍持だ』

金左『元明智の家の子にさる者ありと知られた班鳩の平次が、槍持奴！』

作『金左さう云ふてやるな互に長い浪人暮し、俺でさへも娘がなくば、奴奉公なりともしたい思ひ』

金左『え！作兵衛迄が？』

平次『しかし金左、漸く治まりかけた泰平の世に、一萬石の仕官はちと骨だぞ、なまじいの意地を立て貰く烏滸と笑はゞ笑へ奴の衣裳を纏うても、心は錦、昔ながらの班鳩平次に違ひはない』

作『今も今とて虎之助が、平次の脛に感心し居つて三千石の知行取らさうと云ふのを、ポンと刎ねつけた、と意氣は益々熾んなものだ』

金左『ホウ、三千石を棒に振つてか』

平次『武門の意地だ、引いては非業の刄に失せ給ふた故殿への義理立て』

作『ま、ま、その樣な話は今からいつでも出來る、それよりも金左、貴樣どうして、金吾を召し連れて來なんだのだ、そうして？縫も喜んだろうに』

金左『おウ、金吾も昨夜から安田の小父上に逢へるのだと、夜の目も合はずに樂しみに致して居つたのに、あれは又、昔から格別の安兵衛贔負、彈みきつてゐたに、今朝になつて、據んどころない、殿の御用だ』

作『おウ、それで氣付いた供揃ひと云ひ、裝束と云ひ天晴武者振りと思ふたが、すりや金左、貴樣、仕官に及んだか』

金左『おウ』

平次『やア、それは目出度い、誰だ、誰だ、相手は』

作『こりや目出度い』

平次『誰だ、相手は』

金左『結城殿だ』

作『すりや、秀吉が養子の』

平次『德川殿の御曹子、結城秀康殿か』

金左『是非にとの、懇望で』

作『うん、何よりも目出度い、良禽は樹を選んで巣作るとかや、吾等が粉骨碎身仕へ得る名君こそ世上に稀、しかも吾等はすでに故殿に別れ申した身の上――結城殿なりや、海道一の良將、德川殿の嫡子、昨日今日出來星の成り上り大名とは違ふ、しかも潤達剛毅の名將と聞く、家柄も立派、人も立派、之程の緣は又とあるまい、（ハラ〳〵と泣いて）金左、嬉しいぞ、目出度いぞ、果報者奴、三羽烏のその中でも、貴樣は取り分け分別者、その才覺が物を云ふたのであらう、天下漸く治まりかけて、浪人衆が世に溢る、時、仕官と云ふても生易しいものではない、それもこれも、貴樣のそのかみの武功が口を利いてゐるのだ、箕浦金左なら、召抱へて決して愧づかしい男でないと折紙を付けられたからこそだ、偉いぞ、金左、俺は、嬉しい、嬉しいと同時に、本音を云へば、少々羨やましくもある』

金左『な、なにを云ふ、三羽烏の隨一人、右大臣家に槍つけた程の作兵エが俺の身の上羨やんで何とする、吾等は唯貴樣の流れを酌んで囃されるだけのう平次』

平次『そうとも、分別者の金左の仕官はさることながら、作兵エ、ハ、、、未だ老ひ朽ちる年でもないに、氣の弱い、何としたのだ』

作『いや、ハ、、、笑ふて呉れ、い、や、之も皆金左仕官と聞いた嬉しさについ取り亂したかたちぢや、聞き流せ』

平次『作兵エ、今日は、どうかして居るの、したが今泰平の御代に、結城殿なればこそ、新參の金左を一萬石出して召し抱へる、いや思ひ切つたもの』

金左『いや、ハ、、、、』

作『いや、ハ、、、、』

平次『ハ、、、、』

金左『ハ、、、、』

作『